

会 議 録

会議の名称	令和2年度第4回地域福祉推進協議会（書面会議）
開催日時	令和3年3月2日（火）
委員氏名	喜多祐荘（学識経験者） 小野清士（民生委員児童委員協議会） 遠藤伸一（開成町身体障害者福祉協会） 明石功香（心身障がい児者と家族の会かるがも） 小川周作（老人クラブ連合会） 河野愛子（開成町保護司・更生保護女性会） 村岡謙治（開成町教育委員会） 坪井千秋（ぱたぱたママ） 高田幸男（自治会長連絡協議会） 西田 統（小田原保健福祉事務所足柄上センター）
事務局	開成町町民福祉部福祉介護課 開成町社会福祉協議会
議 題	(1) パブリックコメント実施結果 (2) 計画原案について (3) その他

(書面会議 意見)

委員名	委員意見
A 委員	議題
A 委員	(1) パブリックコメント実施結果 住民懇談会（社協）の参加した方々に、パソコンを直接求めるなど、場を設けるなどの作業が今後は必要になりましょう。町の広報と連動させてください。
B 委員	緊急事態宣言かということもあり、目の前の生活に追われ意見を出すもの難しかったのもあると思います。 このような状況を踏まえて、来年度はたくさんのご意見を聞けると良いと思いました。そして地域福祉計画に関心を寄せる取り組みが必要であると思いました。
C 委員	お知らせ版等で周知しても、高齢者・障がい者等の方々が、パソコン環境ができている世帯の比率が多ければ、パブリックコメント実施で意見もあつたかもしれませんが、比率が低いと意見が出にくいと思います。意見収集の方法を今後検討するのはいかがでしょうか。
G 委員	パブリックコメントで意見なしというのは寂しい限りですが、委員限りでも良いのですが、期間が短いようですが、期間内のアクセス件数、閲覧件数などがわかるようであればお示しいただくことは可能でしょうか。
事務局	A 委員、C 委員よりパブリックコメントの実施方法についてご意見をいただきました。パブリックコメントは、「開成町パブリックコメント手続条例」等で定められており、周知方法、意見の提出方法、意見期間、実施状況の公表など開成町としての方法が定められております。 今回、福祉介護課では3計画を策定していますが、3計画で1件と非常に低い結果となっております。過去と比較しても非常に低いものです。 B 委員のご指摘のとおり、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大等により生活そのものが大きく変化しています。 休校が余儀なくされ、企業等の働き方も変わり、その結果、経済的な課題など今までにない危機の中で、目の前のことが精一杯な状況の方がほとんどだったと思われまます。 B 委員のご意見とおり、この計画を多くの方に知っていただきご意見をいただく場が大切です。令和3年度の広報かいせいの6月号に本計画を掲載予定です。また関係団体等への説明も実施してまいります。 G 委員のご意見で、パブリックコメントに関する閲覧数ですが、期間中 253 件の閲覧を確認しております。
A 委員	(2) 計画原案について 事務局と委員各位との相互交流の結晶だと思います。もし訂正があれば会長に一任いたします。パブリックコメント後ですが、社会福祉協議会へのご意見を提出させていただきます。

(書面会議 意見)

	<p>きました。柔軟にご対応いただきたかった。町民の社協という立場で、町民に即した実践計画であるべきではないでしょうか。(例：P6 1 「心豊かな地域社会」)</p>
F 委員	<p>10 ページ 開成町の人口推移ですが、男女別で記載してほしいです。</p>
E 委員	<p>10 ページの開成町の現状 令和 7 年のグラフが人口 17,601 人から 19,279 人のグラフに変更されるということでしょうか。駅前の区画整理事業が始まるのに、減少に転じるのはおかしな話ですので、変更は良いと思います。</p>
G 委員	<p>町人口増の推計となると、そもそもの計画の前提が揺らぐこととなります。とはいえ、全国の傾向を踏まえていることや 10 年以上のスパンで（次々期コミュニティプランの期間）は、全国の傾向に近くなる可能性があります。</p> <p>町マスタープランとの整合は必要であります。パブコメを終えたこの時期としては、悩ましい修正と考えます。</p> <p>本計画に付随して P2 9 「地域福祉の担い手育成」は書き換えが必要かと思えます。その他にも最終チェックが必要と考えます。全国的傾向を踏まえて計画するものの、開成町の今期（2021-2025）の人口の動向についての見方を示す必要であるのではないかと思います。</p> <p>P32,P62 の修正は妥当と考えます。</p>
事務局	<p>A 委員のご意見ですが、「豊かな地域社会」の「豊か」には、経済的な豊かさだけでなく、委員ご指摘の心も含め、地域で暮らす方々のつながりや見守り体制、世代を超えた関係など様々な要素が含まれるものとして表現しております。そのため、あえて「心豊か」に変更していないことをご理解いただくと幸いです。</p> <p>F 委員のご意見で、推計人口の男女別の記載ですが、神奈川県年齢別人口統計を用い、男女別区分の統計も存在します。ただし、年齢別人口割合など含めると複雑なグラフになること等から男女を分けない形にしています。今後は、毎年度の協議会でお示しさせていただきたいと考えております。</p> <p>E 委員のご意見のとおり、推計人口グラフを変更いたします。また、G 委員のご意見のとおり、パブコメが終了したこの時期の変更は悩ましいものがありますが、今年度の人口増加状況も踏まえ、修正することといたしました。その結果、P29 の内容との整合性など最終チェックを行います。</p>
A 委員	<p>(3) その他</p> <p>全委員の意見を丁寧に取り込み、社協の考えを尊重し、町民のコメントを待つなど誠実に説明した上で計画案を作成されたことに敬意を表します。そして各委員の熱心なご意見が非常に貴重でありました。</p>
F 委員	<p>地域福祉推進協議会には、各自治会の福祉担当の方にも参加できるようにしていただきま</p>

(書面会議 意見)

E 委員	<p>すと更に内容の充実した協議会になると思います。</p> <p>改めて、コミュニティプランをじっくりと読む機会を与えていただきました。最初は何か何だかわからないことばかりでしたが、概要が少しずつわかり、計画を推進していくために、自分自身も参加や協力できるところは協力していかなければと今更ながら感じました。自分の勉強にもなりました。ありがとうございました。基本理念である「誰もが安心してイキイキと暮らせる福祉のまち かいせい」になってほしいです。</p>
G 委員	<p>書面会議にて、丁寧な返答ありがとうございます。書面会議の場合、委員・事務局等関わる方々全てが不慣れな中でやっていただいたことと思います。総論的な意見交換はある程度達成されたかと思いますが、町・社協より各論にかかる論点があれば「提案」「趣旨」を入れた形で意見を求めると、書面会議でも深まるのではないかと思います。</p>
D 委員	<p>「計画の進行管理と評価」には、多角的・総合的評価を行うと書かれています。よりわかりやすい進捗状況の把握と評価をお願いしたいと思います。特に「社会福祉協議会第6次地域福祉活動計画」は「重点的な取り組み」の中には数値目標的なものがないので、わかりやすい評価の観点と説明が必要かと思います。</p>
事務局	<p>委員の皆様、本当にありがとうございました。</p> <p>皆様のご意見・ご提案に対し、事務局も不慣れな書面会議により双方のやりとりが見えにくく、実際にどのように意見が反映されたのか見えにくくなったものもありました。この場でお詫びいたします。</p> <p>ここでの議論は、計画が開始される令和3年度から本番となります。D委員からのご意見のとおり、「よりわかりやすい進捗状況の把握と評価」はこの計画の肝となるところでございます。</p> <p>この部分につきましてはA・B・Cのような定量的評価方法ではなく、より多くの皆様に町・社協の進捗状況を知っていただくため、次年度以降の本協議会において評価方法も含め協議してまいります。</p> <p>また、F委員のご意見より福祉部の方が参加について触れていただきました。次年度は公募による委員募集を予定しておりますので、関心のある方に応募いただきたいと考えます。</p> <p>計画書は3月末に策定となります。策定後は委員の皆様へ配布させていただきます。今後とも、地域福祉の推進にご協力いただきますようお願いいたします。</p> <p>事務局 開成町福祉介護課・開成町社会福祉協議会</p>